

「今だからこそイスラムを知ろう」 第五弾

～アテンドする際の外せないポイント～

2019年11月28日（木）実施 JGA 第一支部研修終了レポート



11月28日（木）14:00～15:30、東京ジャーミー・トルコ文化センターにて広報・出版ご担当の下山茂氏を講師にお迎えし、JGA 主催による第一支部「イスラム」研修が開催されました。参加人数は29名（JGA 正会員23名、非会員4名、運営委員2名）で、遠くは大阪府、愛知県、群馬県からも参加して頂きました。1階の多目的ホールでは下山氏より、全世界で16億人にも上るイスラム教に対して日本人が抱いているイメージと実際とのギャップやハラールについてのご説明があり、大変興味深い内容でした。その後2階の礼拝堂へ進み、実際に信者さんが礼拝をされているのを見学した後に下山氏より、礼拝の型と意味、断食を意味するラマダーン、イスラム文化の世界への影響（アラビア数字、コーヒー、カメラ等）やキリスト教との違いについて詳しくご説明がありました。特に、イスラム教にはシーア派以外は聖職者がいない為に神の前に全員が平等で礼拝時は横一列に並ぶことや、男性と女性は礼拝は別々であるが、それは男女差別ではないこと、礼拝には形式（作法）があって、それは心の表れであり日本の茶道、華道、剣道や柔道の型にも通じるものがあり、大変親近感の湧く対象内容でした。堂内はアラビア文字のカリグラフィーで飾られ大きなシャンデリアが天井から下げられていて大変厳かな雰囲気でした。15:00過ぎに再び1階のホールに戻ってから質疑応答がありましたが、15:30には研修は終了しました。また、今年の夏にハラールショップが新しくオープンし、下山氏のご案内で見学してから流れ解散となり、16:00には全て終了いたしました。

研修を通じて、日本人のイスラムに対するイメージが実際とは大きく違い、それは明治以降に導入したキリスト教に根差したヨーロッパ文化の影響に一因があるとのことで、参加者からは考えが大きく変わったとの声が多く聞かれ盛況のうちに終了しました。

